



田中 志子(たなか ゆきこ)氏  
**医療法人大誠会 理事長**  
 社会福祉法人久仁会 理事長、  
 群馬県認知症疾患医療センター 内田病院 センター長  
 医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本老年医学会老年  
 病専門医、日本認知症学会認知症専門医・指導医、認知症サ  
 ポート医、他



田中 妃那子(たなか ひなこ)さん  
 2015年 群馬県立高崎女子高校卒業  
 2016年 帝京大学医学部合格 受験勉強期間・・・1年間

## コミュニケーション能力も養う インプットアウトプット授業

田村氏 この授業でのもう一つの狙いとしてコミュニケーション力の育成があります。自分の考えをしっかりとまとめることで知識の深化と共に脳の活性化が図れ、相手に理解してもらえるように丁寧に説明することでコミュニケーション能力が養われます。

田中先生は、大学でも講義をされていますが、医学生とのコミュニケーション力については如何ですか？

田中氏 実は7月に、妃那子の大学で授業を行うのですが、今とてもプレッシャーを感じています(笑)。

私どもでは毎年医学生の病院実習を受け入れています。コミュニケーション力は学年に関わらず非常に重要と考えています。医師に求められる姿勢で大切なのは、患者さんの辛さや苦しさを、自分の痛みとして同苦できるか、ということだと思います。そうでないと一番辛い思いをするのは患者さんご本人だからです。

多職種と一緒に今までの医療にとって、一番医学知識を持っている医師がチーム医療をリードしていくためにも、コミュニケーション力はとても大切です。そこには多職種の人への思いやりや配慮を持って育てていくということも含まれます。メデュカパスの授業ではコミュニケーション力も鍛えてもらえたと感じています。

田中先生は、予備校では地方出身の生徒さんは全員寮に入っていると思います。都内の生徒さんで入寮されている人もいます。妃那子さん 私は寮に入って良かったと思っています。寮生活での一人暮らしは、実家にいる時のように親に甘え

## 貴重な人生経験だった寮生活

田中先生 予備校では地方出身の生徒さんは全員寮に入っていると思います。都内の生徒さんで入寮されている人もいます。妃那子さん 私は寮に入って良かったと思っています。寮生活での一人暮らしは、実家にいる時のように親に甘え

られないので、おのずと規則正しい生活習慣が身に付きました。

田中氏 親としては、娘を初めて一人で東京に、しかも受験勉強のために送り出すわけですから住環境にも、とても気を使いました。

女の子ですから、繁華街の近くとか、逆にあまりにも静かな住宅街でも不安です。その点、メデュカパスは教室と寮の距離がとても近いので、勉強で帰宅が夜遅くなっても安心できました。

それに体調が悪い時など職員の方が寮まで様子を見に行ってくれたり、時には薬を買って届けてくれたりと、きめ細かに面倒を見てもらえたので、親として本当に感謝しています。

また、成績だけでなく生活状態もこまめに定期連絡を頂いたので、この点も安心できました。

妃那子さん いろいろな意味で貴重な1年間を経験しました。受験期は結構

辛い思いもしましたが、メデュカパスの友達がいことが大きな支えと励みになりました。浪人して良かったと思っ

田中氏 高校生までは親の庇護の下に居たわけですが、一人暮らしの中で身の回りのことを全て自分で行い、始めて出会った他の仲間とも、家族のように本当に密度の濃い付き合いをしていく中で、お互いに頑張ろうと励まし合ったりしたことは、それまでの高校生の時には経験しなかったことだと思います。

そばで見ていると、1年間ですごく大人になったと感じました。この間は本当に多くのことがあって、彼女もいろいろなることを感じた1年間だったと思います。

## 自ら医師になりたいと、強く願える環境を作ることが大切です。

田村氏 田中先生からは、「子ども自身